

第2回環境影響評価審査会
事務局資料
令和元年11月12日

(仮称)相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業
環境影響評価方法書に関する指摘事項等一覧

■事業計画について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
事業計画	構造形式について地下式を選定した理由を教えてください。 [10/29 審査会]	事業による踏切除却数や想定事業期間、環境面等を総合的に判断して地下式を選定しました。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	踏切除却数の欄のかっこ書きの箇所数は、開かずの踏切の数ですか。 [10/29 審査会]	かっこ書きの箇所数は、開かずの踏切の数です。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	高架式と地下式で踏切除却数が異なるのはなぜですか。 [10/29 審査会]	高架式の場合は保土ヶ谷バイパスの手前で高架を降ろすことになり2箇所の踏切が除却できないため、高架式と地下式で踏切除却数が異なります。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	鉄道を地下化した後の土地利用はどのように考えていますか。 [10/29 審査会]	今回は鉄道のアセス手続です。方法書も鉄道の地下化です。 また、鉄道敷きは相模鉄道が所有しております。横浜市としては地域への公共貢献できるような土地利用を同社にお願いしています。今後の施工については、相模鉄道と協議や協定等の段階で地下化後の鉄道用地の上部利用のビジョンを示せればと思っております。現段階で決定しているのは鉄道を地下化することだけです。	説明済 [10/29 審査会]
	鉄道を地下化した後の土地利用では、人々の憩いの場や空間が確保されるようなパブリックスペースの考え方を取り込んでください。 [10/29 審査会]	なお、パブリックスペースの考え方については、まちづくりの担当部署に伝えていきます。 [10/29 審査会]	
	方法書対象地域はどのような考えで設定されているでしょうか。 [10/29 審査会]	騒音、振動、地下水の影響等を考慮し、環境影響を受ける恐れがある範囲として対象事業実施区域から約500m圏にかかる町丁の全域及び一部地域としました。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	「地下構造物直上の地表を含む鉄道施設」は何を指すのか教えてください。 [10/29 審査会]	駅部を想定しています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]

■事業計画について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
事業計画	賛成意見だけでなく反対意見も汲み取ってください。 [10/29 審査会]	意見書は、環境の保全の見地からの意見を取扱うので、環境の保全の見地以外の理由での反対意見を拾いあげることとはできません。 補足として、事業者としては、事業説明会で配付した資料にメールアドレスを記載しており、個人から意見をいただける環境を整えています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	鶴ヶ峰駅が発進立坑になり両側にシールドが発進するのですか。 [10/29 審査会]	現段階では、詳細な施工計画は決まっておらず、具体的な施工方法までの検討には至っていません。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	起点（西谷側）から鶴ヶ峰駅区間は距離が短いですが、シールドで掘削することは決定していますか。 [10/29 審査会]	掘削する距離は短いですがシールド工法を考えています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	どのくらい工期が遅れる可能性があるのか教えてください。 [10/29 審査会]	他事例の実績に基づくシールドの日掘進量から工期を設定しています。ただし、排出残土の種類によっては工期が遅れる可能性があります。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	既存資料が不足する場合には、ボーリング調査を行う余地があるのか教えてください。 [10/29 審査会]	基本的には既存調査を利用しますが、実際には設計の手続で既に数本のボーリング調査を行っています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	鶴ヶ峰駅付近での開削や地表面に近く浅い場所のシールドでの掘削について、沈下や傾斜は調査項目として検討していますか。 [10/29 審査会]	施工の段階で管理値を設定し、計測した変位量との比較を考えています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
評価項目全般	調査手法について具体的に言及されているのは、コドラート法だけではないでしょうか。どのような基準があり、どのように評価していくのかの記載がなくわかりにくいです。 [10/29 審査会]	準備書 作成段階でわかりやすい図書となるように整理します。 [10/29 審査会]	対応検討中
	準備書での記載になりますと調査後となり、調査が足りないとなってしまった場合は手戻りになります。そのため、 方法書 段階で検討していただきたいと思います。 [10/29 審査会]		
温室効果ガス	供用時の温室効果ガスを非選定としている理由を教えてください。 [10/29 審査会]	供用時に現状からエネルギー消費量が大幅に変化することは考えにくいことから非選定としています。 加えて、鉄道を地下化することで交通渋滞が緩和され、相対的に温室効果ガスの排出が減ることが期待されることから非選定としています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	駅舎について何か配慮する考えはありますか。 [10/29 審査会]	現時点では設計している段階となりますので回答できません。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	鉄道を地下化することで交通渋滞が緩和され、相対的に温室効果ガスの排出が減ることが期待されることを図書に記載できませんか。 [10/29 審査会]	交通渋滞が緩和されることによる効果が定量的であれば準備書に記載します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	エネルギー消費量がどのくらいになるのかを示した上で、温室効果ガス排出量の削減を把握すると理解してよいですか。 [10/29 審査会]	エネルギー消費量を想定した上で、工事によりどのくらいの排出量となるのかを総量で示す予定です。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
生物多様性	親水緑道の一部改変について、工事中も水を絶やさないようにしてください。 [10/29 審査会]	施工計画の中で水生植物等に影響を与えないような工法を検討します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	調査方法に加えて調査の時期や頻度を記載してください。 [10/29 審査会]	—	対応検討中
	狭い範囲を調べて評価をするのは危険なので、親水緑道が旭区の中でどのような位置づけであるのかを猛禽類の情報とも照らし合わせて整理してください。 また、緑道を歩いても鳥は見えないので、河川の中を歩いて調べてください。 [10/29 審査会]	—	対応検討中
水環境	赤丸で示した全ての調査地点で観測井を設置し地下水位を調査するのですか。 [10/29 審査会]	本事業の専用の井戸として、赤丸で示した全ての調査地点で観測井を設置し調査します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	新たに観測井を設置するのですか。 [10/29 審査会]		
大気質	開削工事を行う場所での大気質の測定箇所は、騒音の調査地点と同じですか。 [10/29 審査会]	鶴ヶ峰駅部と鉄道が地下に入る両側の起点、終点部の3箇所が開削工法の対象箇所となります。なお、大気質の予測は方法書の図に示した範囲で行う予定です。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	予測区間図に一般局を示してください。 [10/29 審査会]	一般局を記載します。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
水質・底質	工事排水が要因となり帷子川の底質が変わる等の影響は考慮しないのですか。 [10/29 審査会]	工事等で発生した排水は汚濁処理施設の設置やpH処理を行い河川に流すことを考えています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	工事中に使用した水を直接河川に排水するのでしょうか。 [10/29 審査会]	一般的には排水基準を満たした上で河川に排水を行いますが今後、施工計画で明らかにしていきます。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]
騒音、振動	騒音と振動で測定地点数が異なる理由を教えてください。 [10/29 審査会]	鉄道が地下を走行する区間では、騒音の測定地点を減らしても問題ありませんが、振動は発生します。そのため、振動の測定地点を密に配置しています。 [10/29 審査会]	説明済 [10/29 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
安全	供用時 の土地の安全性について、安全性に関する情報の記載がない中で、地域の方々から事業に対する理解を得ることは難しいのではないのでしょうか。どのように配慮していくのか検討状況を教えてください。 [10/29 審査会]	トンネル 工事 については十分に安全に配慮していきます。 施工計画を含め安全性については、工事説明会を工事の施工前に開催したいと考えています。 [10/29審査会]	対応検討中
	供用時 における内水氾濫時は公共下水道へ排水ができなくなるのではないですか。 [10/29 審査会]	工事中 の排水について、大雨洪水警報等が発表された場合は、工事を中止することを考えています。なお、大雨洪水警報等の恐れがある場合は、基本的に排水を行わない計画を考えていきます。 [10/29審査会]	対応検討中
	洪水及び内水ハザードマップの想定時間雨量はどのくらいですか。 [10/29 審査会]	洪水ハザードマップは1時間あたり93mmの雨量を想定し、内水ハザードマップは1時間あたり76.5mmの雨量を想定しています。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	最近では時間雨量が100mmを超える事例もあります。浸水対策として止水パネルの設置で十分なのですか。 [10/29 審査会]	洪水ハザードマップでは対象事業実施区域に浸水想定区域はありません。一方、内水ハザードマップの浸水区域では事業実施区域に浸水想定区域がありますので「鉄道に関する技術基準」にて定められている「浸水に対する基準」に準じてまずは、対策を実施します。この基準に加えて対策を行えるか相模鉄道との協議となります。今後、事業計画の中で記載できるか相模鉄道と調整をしていきます。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	台風等の影響で河川が増水し、水害が発生した場合の対策はありますか。 [10/29 審査会]		

■環境影響評価項目について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
地域社会	鶴ヶ峰駅付近の渋滞している道路の調査は行わないのですか。 [10/29 審査会]	御指摘の渋滞している道路は水道道です。現段階では、詳細な施工計画が決まっていますが、水道道の使用を含め、今後検討していきます。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	供用後に鶴ヶ峰駅周辺が利用しやすくなり、駅まで送迎する車両が増えて周辺の道路が混雑する影響は考慮しないのですか。 [10/29 審査会]	本事業は鉄道を地下化するところまでを事業としています。周辺のまちづくりについては、旭区のまちづくりプランが作成されており、別事業になります。 [10/29審査会]	説明済 [10/29 審査会]
	委員の皆さんが心配されていることは、都市計画が総合的に動くことで上部も含めてどのようなものができるのかではないでしょうか。評価項目に挙げられない事項についても、附帯意見をつけるなどの対応があっても良いのではと考えます。 [10/29 審査会]	—	
	周辺のまちづくりとの関連についてもビジョンを示していただきたいということを最終的に答申に記載する流れになるかと思います。 [10/29 審査会]		